

枚方淀川探鳥会2024年12月

2024年(令和6年)12月1日(日) 9:00~12:00

日本野鳥の会大阪支部

前田初雄、甲田正二、西脇淳浩、香月清宏、
松井正夫、新名泰博、平 軍二 (☎090-6901-1425)

I 今月の鳥はトビ



トビ(20241103)西脇淳浩氏

①ほぼ毎月観察されるトビの紹介

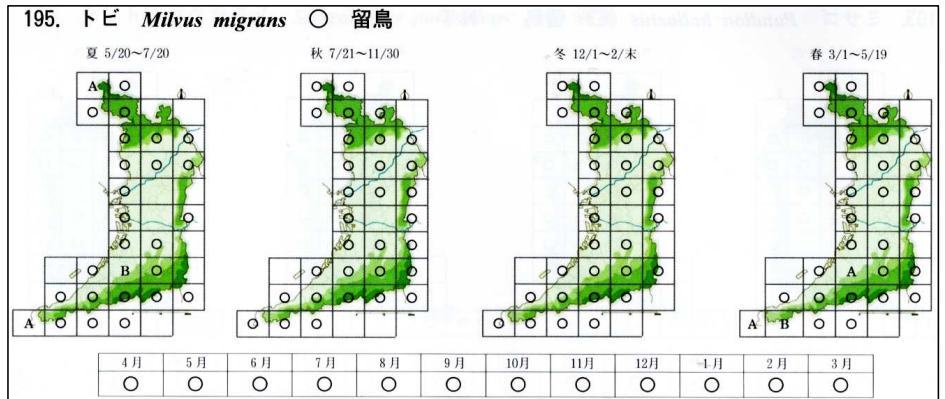
猛禽類とは「鋭い嘴と爪を持ち、他の動物を捕食する鳥の仲間」を指している。昼間に行動するタカ目・ハヤブサ目、夜間に行動するフクロウ目の鳥が含まれるが、いずれも生態系の頂点に立つ生きものである。その猛禽類タカ目の鳥であるが、探鳥会でトビが出ても、他の猛禽類が出たときのような反応は少ない。

その理由はオオタカなどが生きた鳥を追いかけて採餌するのに対し、トビは動物の屍肉を主食としていることと、日本国内の何処にも観察できることなどによると思われる。

しかし、上空で大きく羽をを広げ輪を描きながら飛ぶ姿を見ると、タカの仲間であることを実感させてくれる。枚方淀川探鳥会ではほぼ毎月観察できるので、上空を飛ぶと尾羽の先端が真っ直ぐで、翼下面の白斑を確認し「トビだ」と、楽しんでいただきたいと思います。

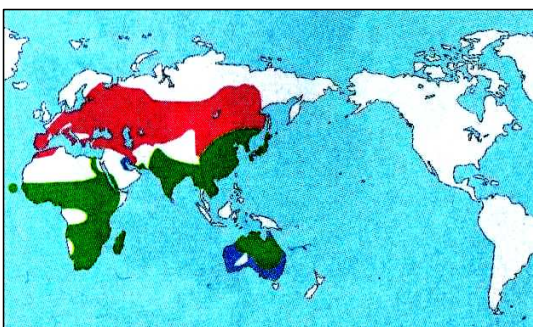
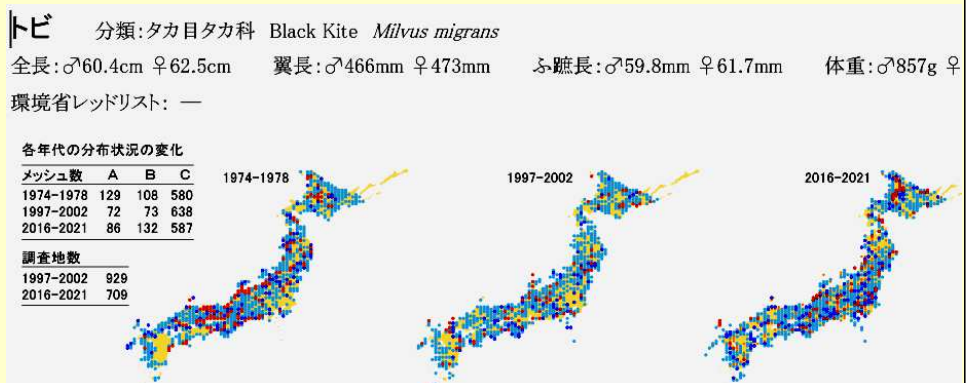
②大阪府のトビ

右図でわかるように、大阪府のほぼ全域で年間を通して観察されている。しかし、①繁殖(A・Bランク)の確認場所が思いのほか少ないこと、②大阪平野の真ん中に空白(大和川沿い)があることも不思議である。といて、私(平)もトビの営巣を見たことが無いので、大阪府内各所で見られるトビの生まれ場所は何処か、興味がある。



③日本におけるトビの繁殖地 (全国鳥類繁殖分布調査結果: 鳥類繁殖分布調査会)

全国で留鳥として繁殖する。海岸、湖沼や河川などの水辺に生息し、樹上で営巣する。分布に大きな変化は見られていないが、比較可能な現地調査の記録地点数は、929地点 → 709地点へと減少しており、また記録個体数も大きく減少している。漁港やゴミ捨て場などでの生ゴミの管理が徹底されるようになって、トビが集中することがなくなったのか、分布の縮小と減少がみられているのかについて、今後の変化に注意が必要である。



④世界のトビ繁殖地・越冬地

(真木・大西・五百澤: 日本の野鳥650 平凡社 2014年)

トビの繁殖地: 極東ロシア~欧州スペイン・ポルトガル
 繁殖・越冬地: 日本~東南アジア・インド・アフリカ中南部、オーストラリア

たまたま11/9万博公園探鳥会にオーストラリア出身の方が参加されたため、図鑑の繁殖・越冬地分布図を見ながらの説明になった。探鳥会終了後、当日観察した鳥の中でオーストラリアでも見られる鳥をチェックした結果、カワウ・オオバン・スズメドバトの4種とわかった(左図のトビは当日観察しなかった)。

しかも、万博公園で観察できる鳥で熱帯を超え、オーストラリアまで渡る鳥はいないが、枚方淀川河川敷のシギ科の鳥、イソシギ・チュウシャクシギ・トウネンなどに、オーストラリアまで渡っている鳥がいるかもしれない。

II 探鳥会観察チェックリスト

日本 鳥類 目録	鳥名	観察 回数	2024												日本 鳥類 目録
			1/7	2/4	3/3	4/7	5/5	6/2	7/7	8/4	9/1	10/6	11/3	12/1	
5	キジ	49				3	2	3		夏		1			5
10	マガン	0				1				休					10
21	ツクシガモ	1	3	1						み					21
26	オカヨシガモ	47	3	26	38	8									26
27	ヨシガモ	16	6	11	19	2									27
28	ヒドリガモ	44	2			3							3		28
29	アメリカヒドリ	5													29
30	マガモ	56		2									15		30
32	カルガモ	91			2	4	7	3			○	1	39		32
34	ハシビロガモ	9													34
35	オナガガモ	8													35
36	シマアジ	1													36
37	トモエガモ	1													37
38	コガモ	59	1										4		38
42	ホシハジロ	40	48	70	33	2							3		42
43	アカハジロ	4		1											43
46	キンクロハジロ	42	114	275	67	31									46
47	スズガモ	6													47
58	ミコアイサ	1	1												58
59	カワアイサ	46	15	6									3		59
60	ウミアイサ	3													60
62	カイツブリ	46	1	1		2							5		62
64	カンムリカイツブリ	57	4	9	2	5	1						3		64
66	ハジロカイツブリ	4													66
74	キジバト	112	3	10	6	4	7	2	2		○	4	2		74
83	シロエリオオハム	1													83
127	カワウ	111	9	16	6	3	11	5	6		○	4	12		127
139	ゴイサギ	10													139
141	ササゴイ	15				2	1	1							141
143	アマサギ	2					3								143
144	アオサギ	113	4	2	10	4	1	1	2		○	4	8		144
146	ダイサギ	109	2	3	3	2	1	6	1		○	5	5		146
148	コサギ	100	3	4	1	2	1	3	3		○	6	5		148
153	ヘラサギ	1													153
154	クロツラヘラサギ	1													154
166	クイナ	12													166
170	ヒクイナ	7													170
174	バン	23													174
175	オオバン	48	53	122	54	66	8						4		175

日本 鳥類 目録	鳥名	観察 回数	2024												日本 鳥類 目録
			1/7	2/4	3/3	4/7	5/5	6/2	7/7	8/4	9/1	10/6	11/3	12/1	
185	ホトギス	2											夏		185
187	ツツドリ	2											休		187
188	カッコウ	1											み		188
192	アマツバメ	2													192
194	タゲリ	1													194
195	ケリ	27													195
202	イカルチドリ	9													202
203	コチドリ	30			1			5							203
204	シロチドリ	4													204
219	タシギ	4	1												219
227	チュウシャクシギ	2													227
235	アオアシシギ	1													235
239	クサシギ	3													239
241	キアシシギ	1						4							241
244	イソシギ	80	2	3	1	1	1				○	3	1		244
251	トウネン	1													251
266	ハマシギ	1													266
286	ユリカモメ	22													286
293	ウミネコ	3													293
294	カモメ	3													294
299	セグロカモメ	19		1											299
307	コアジサシ	9													307
339	ミサゴ	66	1	2	2	1	1	1				1	1		339
340	ハチクマ	2													340
342	トビ	92	2	2	1	3	3	2	1		○	3	2		342
349	チュウヒ	1		1											349
350	ハイロチュウヒ	1	1												350
355	ハイタカ	33	1	2											355
356	オオタカ	25		1	1										356
357	サシバ	1													357
358	ノスリ	34	1	1									1		358
366	オオコノハズク	1													366
383	カワセミ	97	1		1		3	1	2		○	1	3		383
388	アリスイ	9													388
390	コゲラ	94	2	3		1	1	1					2	1	390
393	アカゲラ	6													393
401	チョウゲンボウ	53	1		1	2									401
407	ハヤブサ	26	1		2		1	1							407

日本 鳥類 目録	鳥名	観 察 回 数	2024												日本 鳥類 目録			
			1/7	2/4	3/3	4/7	5/5	6/2	7/7	8/4	9/1	10/6	11/2	12/1				
412	サンショウクイ	1												夏				412
418	サンコウチョウ	1												体				418
420	モズ	103	7	6	3	6	1	2	3	み	○	13	20				420	
435	ハシボソガラス	114	11	17	14	7	12	8	4		○	19	8				435	
436	ハシブトガラス	111	3	4		3		2			○	3	3				436	
438	キクイタダキ	8															438	
439	ツリスガラ	1															439	
442	ヤマガラ	7															442	
443	ヒガラ	1															443	
445	シジュウカラ	106	7	4	6	12	5	2	4		○	25	2				445	
452	ヒバリ	64									○	1					452	
455	シヨウドウツバメ	6															455	
457	ツバメ	58				11	18	20	45		○	2					457	
459	コシアカツバメ	20							15		○	8					459	
461	イワツバメ	46	100		30	1	60	3	10		○						461	
463	ヒヨドリ	115	153	120	32	74	36	10	40		○	400	254				463	
464	ウグイス	109	6	4	4	10	16	5	5			2	6				464	
466	エナガ	87	5	9	6	3						12	10				466	
476	オオムシクイ	5															476	
477	メボソムシクイ	5															477	
479	エゾクシクイ	1															479	
480	センダイムシクイ	7															480	
483	メジロ	92	8	3	4	7	2	6	6		○	24	22				483	
492	オオヨシキリ	30					3	8	3								492	
499	セツカ	29					8	1	3								499	
506	ムクドリ	102	13	35	2	33	14	76	13		○	33	35				506	
508	コムクドリ	5															508	
511	ホシムクドリ	2															511	
520	マミチャヅナイ	1															520	
521	シロハラ	51	2	1													521	
522	アカハラ	2															522	
525	ツグミ	55	4	2	30	11											525	
533	ノゴマ	1															533	
536	ルリビタキ	1															536	
540	ジョウビタキ	55	1	2	2								9				540	
542	ノビタキ	13															542	
549	イソヒヨドリ	33		1	1						○	1	3				549	

日本 鳥類 目録	鳥名	観 察 回 数	2024												日本 鳥類 目録			
			1/7	2/4	3/3	4/7	5/5	6/2	7/7	8/4	9/1	10/6	11/2	12/1				
552	エゾビタキ	8												夏		12		552
553	サメビタキ	1												体		2		553
554	コサメビタキ	17												み		6		554
558	キビタキ	16																558
560	オジロビタキ	1																560
561	オオルリ	4																561
569	スズメ	114	26	33	24	25	24	10	23		○	30	23				569	
573	キセキレイ	36	1	2	1											3	2	573
574	ハウセキレイ	105	8	14	8	4	1	6	1		○	4	21				574	
575	セグロセキレイ	102	2	2	2		1						2	8			575	
584	タヒバリ	28	2	6	25	2										34		584
586	アトリ	29																586
587	カワラヒワ	104	35	31	36	11	4	14	2				8	89			587	
588	マヒワ	6																588
592	ベニマシコ	44																592
600	シメ	41		1														600
602	イカル	17																602
610	ホオジロ	109		8	2	6	11	10	4		○	3	3				610	
614	ホオアカ	6																614
617	カシラダカ	23																617
618	ミヤマホオジロ	1																618
624	アオジ	65	6	12	9	4												624
628	オオジュリン	17																628
	コジュケイ	13																
	カワラバト(フバト)	110	23	130	56	14	13	17	1		○	3	14					
	ハッカチョウ	1																
	カッコウSP	5																
	アイガモ	3							2									
	メボソムシクイSP	5					1						1					
	ヒタキSP	3																
	種数合計(自動計算)		49	48	41	39	36	33	26			25	36	39				
	個体数合計(自動計算)		709	1047	548	393	290	239	202				687	688				
	探鳥会参加者数		24	17	27	24	32	26	17			9	30	30				
11 年 間	1~2回		2012年1月~2023年12月の11年間に観 察回数のない種・多い種、更に樹林伐 採の影響を受けると思われる種をリスト アップした。															
	100回以上																	
	今後樹林伐採影響																	

Ⅲ 次回は1月5日)

午前9時 ラポールひらかた前

今日と同じように、大阪支部HPからホームズ様式からお申し込みください。

1月は、12月に見た冬鳥のカモ・カイツブリ、冬の小鳥ツグミ・ベニマシコなどが期待できる季節。

今年1月探鳥会ではツクシガモが観察できました。



ツクシガモ

IV 先月(11月3日)探鳥会報告

(写真 西脇淳浩)



コサギ



ジョウビタキ



モズ



オオバン・ホシハジロ



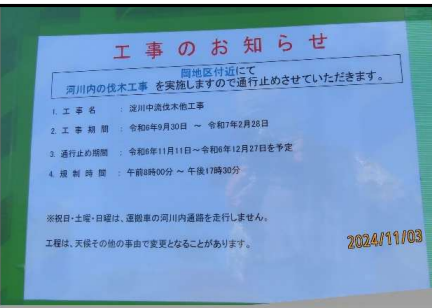
カンムリカイツブリ



キセキレイ

秋晴れで、着込んだ上着が途中から邪魔になるように温くなった。前日の大雨の影響で川辺りには枯れ草や泥が堆積し、川面は水の流れが早くカモたちの姿は少なかった。
 淀川の水面では、今シーズン初めてのカワアイサが流れに流されながらも盛んに潜水を繰り返す様子を観察した。また、制水工の裏などの川の流れが緩い場所では、マガモやカルガモ、ヒドリガモ、コガモ、ホシハジロ等が休み、オオバンやカンムリカイツブリが混じたが、流速の影響だろうか水面の鳥は少なかった。天の川では、カワセミを近い場所でゆっくり観察し、他にキセキレイやセグロセキレイ、コサギ、イソシギを観察した。グラウンドではタヒバリの群れが来ており、ハクセキレイが混じた。その他、至るところでモズやジョウビタキが姿を見せ、所々でカワラヒワやメジロ、エナガの群れも賑やかに通り過ぎた。伐採の影響もあり樹林の鳥はあまり確認できなかったが、冬の兆しを感じる探鳥会となった。

V 淀川の大滝周辺の樹木伐採計画



先月11/3の探鳥会時、淀川河川公園(枚方地区)「多自然池・淀川の大滝」周辺で、樹木伐採計画の看板が出ていた。
 昨年の野鳥通り樹木伐採に続き、今年は下流側「黒田川・天野川間に挟まれた樹林」、更に下流の淀川河川公園「多自然池・淀川の大滝周辺の樹林」が伐採が実行されることになる。
 一昨年までは12月～3月探鳥会の野鳥観察種数は50種を超える月が多かったのですが、昨年・今年の樹木伐採により、アトリ・シメ・イカルなどアトリ科の冬鳥や、コゲラ・エナガ・メジロなど留鳥の木の鳥がほとんど観察できなくなると思われ、40種前後にとどまると予想される。
 その代わりに、淀川本流のカモ・カイツブリ・サギの仲間や、ペニマシコ・タヒバリなど草原の鳥をゆっくり楽しんでくださるようお願いいたします。
 野鳥通りの北側、牧野ゴルフ場本流側は、樹林伐採後約5年を経過したが、木々が5m以上の高さに成長し、林の鳥が住める樹林になりつつあるので、去年・今年と伐採された樹林も5～10年で林の小鳥が復活する筈なので、皆さんにはその日をお待ち頂きたいと思っている。